

# 令和4年度学校評価における児童アンケート結果(12月)【概要】

12月に実施した「令和4年度学校評価における児童アンケート」(以下、児童アンケート)の結果がまとまりました。日常の学校生活や家庭生活の中で、児童の皆さんが今年度の茶内小学校として目指すゴール(自分のよさに気付き、役立つ喜びを知り、未来社会で活躍できる子ども)をしっかりと意識して行動していることが分かりました。しかし、いくつか課題も見られました。3学期に、それらの課題が1つでも解決できるように授業や行事等の場面で努力を続けていきましょう。

## 1 児童アンケート集計結果

4:している 3:どちらかといえばしている 2:あまりしていない 1:していない

質問事項	4	3	2	1
1 私は、自分のよさに気付いている。	37.8%	35.7%	19.4%	7.1%
2 私は、人(友達や家族など)の役に立つ喜びを知っている。	57.1%	30.6%	10.2%	2.0%
3 私は、人(友達や家族など)に優しい気持ちで接している。	61.2%	31.6%	7.1%	0.0%
4 私は、自分の考えをもつようにしている。	56.1%	34.7%	8.2%	1.0%
5 私は、自分の考えを人(友達や家族など)に伝えようとしている。	30.6%	46.9%	19.4%	3.1%
6 私は、いろいろなことに挑戦しようとしている。	59.2%	30.6%	10.2%	0.0%
7 私は、自分のために真剣に授業に臨んでいる。	57.1%	31.6%	8.2%	3.1%
8 私は、授業等で分からないことがあると、自分で調べたり、先生や友達に聞いたりしている。	52.0%	35.7%	12.2%	0.0%
9 私は、自分で計画して家庭学習に取り組んでいる。(第3学年以上)	61.8%	23.5%	11.8%	2.9%
9 私は、学校から出された宿題をちゃんとやっている。(第1・2学年)	67.9%	11.3%	3.8%	17.0%
10私は、誰とでも話をしたり、協力したりする。	58.2%	36.7%	5.1%	0.0%
11私は、日常の授業や学校行事に意欲的に取り組んでいる。	56.1%	33.7%	7.1%	3.1%

質問事項	4	3	2	1
12私は、テレビを見たり、ゲームをしたりする時間を自分で決めている。	37.8%	21.4%	21.4%	19.4%
13私は、決まった時間に起きたり、寝たり、食事をとったりしている。	49.0%	30.6%	13.3%	7.1%
14私は、家庭で取り組む仕事(お手伝い)がある。	48.0%	34.7%	14.3%	3.1%
15私は、自分から家庭の手伝いをする。	36.7%	32.7%	24.5%	6.1%
16私は、自分の命を大切にしている。	85.7%	13.3%	0.0%	1.0%
17私は、本や新聞を読むことが大切だと思う。	52.0%	28.6%	16.3%	3.1%
18私は、運動することが大切だと思う。	83.7%	14.3%	1.0%	1.0%
19私は、地域の行事に参加することが好きである。	39.8%	31.6%	21.4%	7.1%

20私は、諦めることなく何事にも取り組んでいる。	44.9%	42.9%	11.2%	1.0%
21私は、片付けしたりするなど、身の回りの環境を整えるようにしている。	46.9%	33.7%	15.3%	4.1%

※肯定的な回答（4と3）が80%未満は網掛け

## 2 理想の学校像（こんな学校になればいいな）

- 児童が主体的に学習や活動計画に関わり実行する学校
- 相手に気持ちが伝わる挨拶ができる学校
- 地域に人や保育所・中学校と積極的に交流できる学校
- けんかやいじめがなく、元気に過ごせる学校

※理想の学校像に関する代表的な姿を選択しました。

## 3 今後の方向性（児童会三役との分析から）

- ・「9 私は、学校から出された宿題をちゃんとやっている。(第1・2学年)」が少ないことに驚きました。生活リズムの見直しに合わせて、帰宅後に学習時間を確実に設定するようにしましょう。
- ・自由記述欄に「あいさつを自分から元気にできる学校」がありました。児童会事務局を中心に毎朝の挨拶運動に取り組んでいます。低学年は元気な挨拶を返してくれているが、一方で、学年が上がるにつれ、なかなか挨拶がかえってこない現状があります。挨拶運動の取り組み方も含め、改善策を考えていきます。
- ・自由記述欄に「いじめのないがっこう」「ひどい言葉やけんかをしない学校になってほしい」「ケンカをしない学校がいいです」「みんななかよくしたい」という記述が見られました。児童会事務局で取り組んでいる「ありがとうの木」の活動の趣旨が全校児童に伝わっていないと感じました。活動だけではなく、何のために行っているのか伝えながら継続した活動を行っていきます。
- ・今後、児童会事務局ができる活動として児童同士の交流機会として「チャナリンピック」のような異学年児童と一緒に遊べるものを企画します。